

## 有用林に向けて雑木林の新しい可能性を探る

事業責任者： 光藤 誠太郎（遠赤外領域開発研究センター・教授）

代表学生： 豊田 智也（工学研究科・博士前期課程 1 年）

<b>概 要</b>	雑木林を楽しむ会は、大学に隣接する雑木林が河川改修に伴い、消滅することに対して、この林に新しい価値を見つけ生み出すことにより林を保全することを目的に生まれた団体であった。その活動により、林は存続することになった。次の課題はその林に持続可能なシステムを構築することであり、林に隣接する、地域住民組織、商店街、公民館、大学等のネットワークを構築し、定期的なイベントを開発することで持続性を確保する仕組みを作った。新たなステップとして、河川工事終了後の雑木林再生に伴い、有用林としての価値をさらに付加する雑木林の再生計画に取り組んだ。また新しい取り組みとして、雑木林を中心にした人のネットワークを広域に広げることにより、現在問題になっている、環境保全や里地里山の保全に貢献する活動を行った。
<b>関連キーワード</b>	地域連携, 森林資源, 里地里山, 持続可能な社会, 環境学習

### 事業の背景および目的

福井大学の雑木林では、底喰川河川工事に伴い植栽が移植され、平成26年度に再移植することになっている。本年度は、これまで取り組んできた植栽の計画が一段落するため、有用林として活用していくための、次のステップに向けての整備が求められる。整備にあたっては、これまでのアンケート調査によって必要であると挙げた①腐葉土づくりのためのブース②かまど③自然のなかの遊び場について、近隣住民と意見交換しながら取り組む。また、広場や樹種の保存、林維持のために「林管理マニュアルを」作成し、学んできたことをまとめる。

本計画づくりに取り組むためには、「地域住民と林活用のための知識の共有」と「体験を通じた活用の実証実験」が欠かせないことから、専門家や実践家を招いたレクチャーや体験講座を定期的開催し、地域公開型の学生主体によるカリキュラムを企画・運営する。

受講は、学生のみならず子どもや一般市民など、広く社会に開放しながら地域との関わりを生み出し、持続的な地域参加型・学びと体験の拠点づくりを目指す。

### 事業の内容および成果

① 地域と連携した雑木林の有用林としての活動と雑木林再生に向けたワークショップの実施と、再生計画のまとめを行った。

地域と連携した活動を以下の様に行った

4月：雑木林ピクニックの実施

6月：田原町デザイン会議総会に参加

たわら屋10周年記念会に参加

雑木林草刈り&大人BBQの実施

学長訪問の実施

7月：雑木林でCinemaの実施

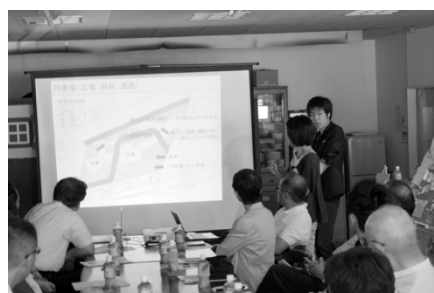
NHKに出演

8月：きもだめしin雑木林(春山公民館との連携)の実施

10月：きてみてフェア(きてみて雑木林)の実施

雑木林の日の実施

2月：福井県学生交流事業プレゼンテーション大会に参加



田原町デザイン会議で雑木林の再生計画を説明する

(優秀賞及び学生グランプリ賞を受賞)  
雑木林でシイタケの原木づくりの実施  
COCフォーラムに参加  
FBCラジオ出演

特に、10月に行った、雑木林の日には、これまでの雑木林の再生計画をもとに、卒業生、地域住民、関係団体とともに計画の合意形成を図るワークショップを行い、有用林としての再生計画のまとめを行った。雑木林を楽しむ会も結成から10年以上がたち、地域の一員として学生が地域社会で活躍するようになってきた。雑木林の維持・管理に関するイベントも定着し、地域の方もイベントを楽しみに参加してくれている。



10月の「雑木林の日」に行われたワークショップの様子

② 平成24年度の「雑木林の学校」で知り合った地域の団体と継続的に活動をおこない、ネットワークの維持と拡大を図る。

あわら市で里地・里山保全と農業の持続的未來について活動を行っている「もりみちプロジェクト」と密接に関係し、イベントの企画や実施を共同で行うなどの活動を以下のように実施した。

5月:田植えイベントに参加  
7月:里山自然観察会(ホテル観察会)に参加  
8月:稲刈り・ハサガケイベントに参加・協力  
10月:秋の自然観察会(草木染め)に参加・協力  
11月:かりんて祭りに参加・協力  
12月:手前味噌づくり(@たわら屋)参加・協力



もりみち P の田植えイベントを  
合同で実施

「もりみちプロジェクト」はあわら市清滝地区の農村を活動のフィールドにしている団体で、主なメンバーは社会人であるが、イベントの実施等の即戦力として、またプレゼンテーション等の作成において大学生が参加することにより、活動の幅が広がっている。また、雑木林を楽しむ会が参加することにより、福井市内の住民があわら市の里山に興味を持つきっかけとなっている。12月の味噌作りは田原町商店街のたわら屋を借りて実施され、田原町周辺の住民の方々の多くの参加があった。このことで、あわら市の里地里山を福井市内の人が興味を持つきっかけにもなり、里地里山の新しい価値の発見がなされたと思う。



もりみち P&雑楽会のたわら屋での味噌づくりの様子

### 参考文献・添付資料および特記事項等

○2月11日にアオッサにて行われた福井県学生交流事業プレゼンテーション大会に参加し優秀賞及び学生グランプリ賞を受賞した

添付資料

○雑木林を楽しむ会2014年度活動報告書